

#14 軍隊へと編成されて、神の証しを保護し、地上での神の行動のために戦うことにおいて必要とされる成長と円熟

(民数記の結晶の学び)2019/8/19-25

I. 民数記の強調点は、神によって贖われ、啓示を受け、訓練されたイスラエル人が、どのようにして軍隊へと編成されて、神の証しを保護し、地上での神の行動のために戦ったかということです：

A. 神によって創造された地はサタンによって破壊されたので、神は一群れの人々を得て、地上での神の行動のために軍隊へと編成する必要があります。民1:3 あなたとアロンは、イスラエルにおいて二十歳以上で、すべて兵役に就くことができる者を、その部隊ごとに数えなければならない。

B. 民数記が見せている事は、どのようにして神が彼の贖われた民を軍隊へと編成して、神の証しを取り囲み、保護したかということです：

1. 民数記において、特に最初の四つの章において、イスラエル人は神の案配にしたがって軍隊へと編成されました。

2. イスラエルの子たちが軍隊へと編成されるためには、数えられる必要がありました。イスラエル人は数えられてはじめて、軍隊へと編成されることができました。

II. 「兵役に就く」ために、イスラエル人の男子は少なくとも二十歳である必要がありました。これは成長や円熟と関係があります：

A. およそ二百万人のイスラエル人がいましたが、六十万三千五百五十人だけが二十歳以上であって、兵役に就くことができました。

B. 地上には非常に多くの信者がいますが、その中の少数の者たちだけが命において円熟しており、神の証しのために戦うことができます。エペソ4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

C. 民数記は、軍隊に入隊する年齢を述べており、それは二十歳以上でした。しかし、この書は退役する年齢は述べていません：1. 神の軍隊は強力でした。それはちょうど、カレブが八十代になっても、四十代の時と同じように、神の御前で強健で、戦うことができたようにです。****

2. これが表徴しているのは、私たちが神によって数えられるためには、命と命の円熟の両方を持たなければならないということです。

D. 民数記によれば、子供も女も数えられませんでした：

1. 子供は未熟であることを表徴し、女は弱いことを表徴します。2. 二十歳以上の男子だけが戦いに従事することができたという事が表徴するのは、信者たちの間で、命において円熟して強い者たちだけが、霊的戦いにおいて戦うことができるということです。****

E. 数えられた者たちは、モーセ、アロン、十二部族の族長たちによって確認される必要がありました：

1. モーセが表徴するのは、キリストがからだのかしらであって、ご自身の権威を行使するという事です。アロンが表徴するのは、キリストが大祭司であって、ご自身の祭司職を執行するという事です。十二部族の族長たちが表徴するのは、召会の中の長老たちや導く人たちです：

a. これが示している事は、神の民を数えることが、命と命の円熟とに基づいており、また霊的権威によって確認されるということです。6. 神の軍隊を編成するためには、命、円熟、霊的権威の確認が必要です。****

2. イスラエルの子たちは数えられるために、彼らの父祖たちの家族との命の交わりの中にある必要があり、また命において成長して、二十歳という年齢によって表徴される円熟へと至っていなければなりません。

III. 今日の主の回復には、神の軍隊を編成するために要求される成長と円熟についての緊急の必要があります。私たちは命において成長して、円熟へと至る必要があります：

A. 霊的に言って、二十歳以上の男子が表徴するのは、神の民の間で、天然の身分にかかわらず、霊において強く、神聖な命において円熟している者たちです。このような者たちだけが、軍隊へと編成されて、地上における神の権益と行動のために戦う資格があります。

B. 命の成長とは、神の要素が増し加わること、キリストの身の丈が増し加わること、聖霊の地位が拡大すること、人の要素が減少すること、天然の命が砕かれること、私たちの魂のあらゆる部分が征服されることです。

コロサイ2:19 かしらに結び付いて…この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。

エペソ3:17 キリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。

C. 造り変えられるとは、私たちの天然の命において新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、私たちを変える神聖な命で満たされることです。造り変えの最後の段階が、円熟、すなわち、命の豊満です。

D. 新約において、「円熟」という言葉は、信者たちが神の命において完全に成長して、完全になるということを目指しています：

1. 私たちは信者として、前進して円熟へともたらされ、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、キリストに対する最も満ち満ちた享受とキリストを獲得することを目指する必要があります。それは、千年王国においてキリストに対する極みに至るまでの享受を持つためです。

2. 霊的命において円熟するための必要条件は、神聖な命において絶えず成長することです。

3. 信者たちがキリストの命において成長し円熟した最終的な結果は、一人の完全に成長した人、すなわち、召会がキリストのからだとして成長して円熟した人になることです。

E. 円熟するとは、キリストが私たちの内に完全に形づくられることです。それはまた、私たちが彼のかたちへと完全に造り変えられたことを意味します：

1. 私たちが再生された時から、主は私たちの中で働いています。それは、私たちが彼のかたちを持つためです。

2. 主が彼のかたちを私たちの中へと完全に造り込んで、主が私たちを通して完全に表現されるとき、私たちは命において円熟します。

F. 雅歌第3章は私たちに、尋ね求める者の円熟を見せています。そして第4章は、意志の服従によって円熟に到達することを説明しています：

1. 尋ね求める者の円熟の秘訣は、彼女の意志が完全に服従させられ、復活させられたことです。雅4:4 あなたの首は、武器倉のために建てられたダビデの塔のようだ。その上には千の小盾、すべて勇士の大盾がかけられている。

2. 首は、神の下に服している人の意志を表徴します。主は、私たちの意志の服従を最も美しいものと考えます。

3. まず、私たちの意志は服従させられなければなりません。それから、それは復活の中で強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります。

エペソ6:10 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。

4. もし私たちが服従する意志を持つなら、私たちの意志は、戦いのためのあらゆる種類の武器を保持するダビデの塔のようになります。

IV. 神の子供たちは、霊的な二十歳という年齢に達するためには、命の経験の最初の三つの段階を通過して、第四段階へと入る必要があります:

A. 命の経験の第一段階は、キリストの中にあるということです。第二段階は、キリストの中に住むということです。第三段階は、キリストが私たちの中に生きているということであり、それはまた十字架の段階でもあります。

B. 第三段階において、尋ね求める信者たちは、肉、自己、天然の力と能力を持つ天然の構成を対処します:

1. 肉は、墮落した古い人の総合計、私たちの墮落した存在すべてを指します: a. 肉は、古い人を生かし出すことであり、古い人の表現です。

b. 肉は、変えたり改善したりすることはできません。こういうわけで、私たちは、肉が常に私たちと共にあるという事実を覚えておく必要があります。c. 肉は、神の敵の陣営であり、敵の働きの最大の基地です: 1. 肉は、私たちのさまざまな敵の中で第一のものであり、罪やこの世やサタンの前面で率先し、私たちと戦います。2. 神は、サタンを憎むのと同じように肉を憎みます。神は、サタンを破壊することを願うのと同じように肉を破壊することを願います。

2. 自己は、魂の命であり、その重点は人の思想と意見にあります: a. マタイ第16章23節から25節において、三つの用語は互いに関係があります。それは、「思い」、「自分(自己)」、「魂の命」です:

1. 私たちの思いは、私たちの自己の表現であり、私たちの自己は、私たちの魂の命の具体化です。

2. 私たちの魂の命は、私たちの自己において具体化され、また私たちの自己によって生かし出されます。そして、私たちの自己は、私たちの思い、考え、思想、観念、意見をを通して表現されます。

b. 自己は、サタンの具体化です。自己は、魂の中にあるサタンの本質であり、魂を神から独立させ、魂にある自己の意見や自己の意志を表現させます。

c. 自己は、神からの独立を宣言する魂です。

3. 天然の構成は、私たちの肉体と精神との能力の集大成です: ペリピ3:3 なぜなら、私たちこそ割礼の者であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていないからです。10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて。

a. 天然の力と能力には、神聖な要素がありません。

b. 天然の力と能力は、神のみこころにしたがってではなく、自分自身で行動します。c. 私たちは自分の天然の能力をもって働くとき、自分自身の栄光を求め、自分自身の願いを満足させます。d. 私たちの天然の力と能力は、十字架によって対処されるとき、復活の中で有用になります。✠

C. 私たちの霊的な経験と霊的な命の第四段階は、最高の段階であり、キリストが私たちの中で完全に成長しています。これは、霊的戦いの段階であり、そこにおいてキリストは私たちの中で完全に成長しており、円熟しています:

エペソ4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。6:13 こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日にあって抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。

1. 第三段階の終わりでは、私たちは神のかたちをもって神を表現します。第四段階では、私たちは神の権威をもって神を代行します。

2. 第四段階における命の経験に含まれるのは、からだを認識すること、昇天を認識すること、キリストと共に王として支配すること、霊的戦いに従事すること、キリストの身の丈に満ちることです。

3. 私たちはからだを認識し、からだの中で生きるために、肉、自己、天然の構成をまず対処しなければなりません:

a. もし私たちが依然として肉にしたがって生き、自己の中で生き、天然の能力によって主に仕えるなら、私たちがからだを認識することはできません。

b. 私たちの肉が対処され、自己の意見が砕かれ、天然の命が粉碎されてはじめて、私たちは内側の神聖な命によって、からだを認識することができるようになり、また、自分がからだの肢体にすぎず、私たちの内側の命は独立できないことを認めることができるようになります。

4. もし私たちが霊的戦いを戦って、神の敵を対処したいなら、まず私たちの肉、自己、魂の命を対処しなければなりません:

a. 霊的戦いに従事して、サタンを対処し、神のために地を回復するのに必要とされるのは、私たちが神のためにすべてにおいて絶対的になって、完全に彼に服従することです:

1. 私たちは、自己を保留したり、自己のために少しもとめておいたりすることはできません。

2. 私たちはサタンを対処するとき、完全に自己を捨て去らなければなりません。

b. 召会は霊的戦いに従事し、戦って、神の王国をもたらさなければなりません。✠

V. 香壇での祈りがもたらした事は、イスラエルの子たちが数えられ、軍隊が編成されて、地上における神の権益のために戦ったということでした:

A. 香壇での祈りの結果として、主は諸召会の聖徒たちの「軍事人口調査」を行ないます。数えられた者たちは、地上での神の行動のために戦う資格があります。

II テモテ2:3 キリスト・イエスの良い兵士として、私と苦難を共にしなさい。

B. 香壇でささげられるとりなしは、信者たちの成長と円熟のためであり、それによって軍隊が編成されることがあります: エペソ4:13 ついに私たちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。

6:11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。

1. 私たちは香壇で祈れば祈るほど、円熟する必要が切迫したものであることをますます認識し、また命において成長して円熟するために祈ることの緊急性はますます大きくなります。

2. このような軍隊が編成されてはじめて、神はご自身の定められた御旨のために地上で行動することができます。円熟した者たちから編成された軍隊がなければ、神は行動することができません。✠

Crucial Points(1):キリストが心の中にホームを造る

OL1:今日の主の回復には、神の軍隊を編成するために要求される成長と円熟についての緊急の必要があります。私たちは命において成長して、円熟へと至る必要があります。エペソ3:17 キリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。

4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

もしあるクリスチャンが命において正常な成長があるなら、あなたが彼の考えに触れるとき、そこに主の味わいを感じるでしょう。あなたが彼の好き嫌いに触れるとき、主の味わいを感じますし、彼が何かを決めたり、選択したりする方法を見ても、やはり主の味わいを感じます。…これは、彼が彼の霊から彼の思い、感情、意志の中へと、主の霊と命を浸透させているからです。私たちの心はしばしば主に対して閉ざされており、主は私たちの霊の中に監禁されて、出てくるのができないほどです。主は私たちの内側におられますが、それはあたかも、主が「通行禁止」という標識によって取り囲まれているかのようです。このように主は、私たちの内側で少しも動くことができません。また彼は私たちから出てくる機会が少しもありません。

どのようにして私たちは心を主に開くのでしょうか？ 私たちが決心したり決定したりする時はいつでも、私たちはまず主に次のように言わなければなりません、「おお、主よ、私はあなたを愛します。私は喜んであなたを喜ばせます」。このような祈りは、私たちの意志を主に開きます。いったん私たちの意志が開かれるなら、主はその中へと入られます。さらにまた、私たちが何かを愛したり欲したりする時はいつでも、私たちは少し立ち止まって、主に次のように言うべきです、「おお、主よ、私はあなたを愛します。私はあなたを喜ばせたいです」。これは、私たちの感情を主に開きます。私たちがこれを行なう時、主は確かに私たちの感情の中へと入られるでしょう。同様に、私たちがある事について考え始める時はいつでも、私たちは考えることを少しやめて、主に次のように言うべきです、「おお、主よ、私はあなたを愛します。私はあなたを喜ばせたいです」。このように言うことは、私たちの思いを主に開かせ、この開くことを通して、主は私たちの思いの中へと入ることができるでしょう。

適用新人編

神のエコノミーは、まずキリストをあなたの霊の中に分与し、あなたの霊を再生します。その後、霊の中のキリストは魂の各部分、思い、感情、意志に拡大します。最終的にキリストは、体にまで広がります。このためにあなたは霊を活用する人、思いと感情と意志を主に開いている人であるべきです。あなたの思い、感情、意志の中に、主に入っていたくため、あなたは日常生活で次のような簡単に短い祈りを訓練してください。

思い:「おお主イエスよ、私が考えることの中にあなたが入ってください。私の思いをあなたに開きます。あなたが私の霊から思いに広がってください。私が自分だけで考えることから救ってください。主よ、あなたを愛し、あなたの分与に開きます。アーメン！」

感情:「おお主イエスよ、あなたを愛します。私が人を愛することの中にあなたの臨在がありますように。私は自分の感情をあなたに開き、あなたを迎え入れます。私はあなたが愛するものを愛し、あなたが憎むものを憎むべきです。私の愛の中にあなたが入って来てください。」

意志:「おお主イエスよ、私の頑固な意志を対処して、柔軟な意志にしてください。頑固な意志はあなたに開いておらず、サタンにすぐ降伏してしまう意志です。私が神のみこころを選び実行するため、私の意志をあなたに開きます。」

Crucial Points(2):服従を学び、成長する

雅 4:4 あなたの首は、武器倉のために建てられたダビデの塔のようだ。その上には千の小盾、すべて勇士の大盾がかかけられている。エペソ 6:10 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。

OL1: 尋ね求める者の円熟の秘訣は、彼女の意志が完全に服従させられ、復活させられたことです。

OL2: 首は、神の下に服している人の意志を表徴します。主は、私たちの意志の服従を最も美しいものと考えます。

OL3: まず、私たちの意志は服従させられなければなりません。それから、それは復活の中で強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります。

OL4: もし私たちが服従する意志を持つなら、私たちの意志は、戦いのためのあらゆる種類の武器を保持するダビデの塔のようになります。

まず、私たちの意志が服従させられなければなりません。そうすれば、私たちの意志は復活させられて、ダビデの塔のように、霊的戦いのための武器倉となるでしょう。霊的戦いのための武器はすべて、私たちの服従させられ、復活させられた意志の中に保管されています。もし私たちの意志が主によって服従させられたことが一度もないなら、それは霊的戦いのためのすべての武器を保持する強い武器倉では決してあり得ません。すべての武器は大部分が防御のためであって、攻撃のためではありません。重要なのは出て行って戦うことではなく、立って抵抗することです。小盾や大盾はすべて防御するためであって、それは立つためのものです。霊的戦いの中では、私たちはおもに攻撃するのではなく、防御するのであって、敵のすべての悪魔的でこうかつな攻撃に敵対して立つのです。エペソ 6章に述べられている武具の項目の大部分もまた防御のためのものです。私たちは実はあまり戦う必要がありません。なぜなら、主はすでに戦いに勝利を得たからです。

私たちはただ立って、敵のすべての攻撃に抵抗する必要があります。敵の矢から私たちを守る小盾と大盾は、この塔の中に保管されています。この塔は主を尋ね求める者の服従させられ、復活させられた意志です。これが命における真の円熟です。

服従させられていない意志は、一面において頑固であり、もう一面において軟弱です。敵が来ると、頑固で服従させられていない意志は常に無条件で降伏します。私たちはみなこの事を自分自身の経験によって知っています。…服従の事柄において頑固である姉妹たちは、敵が攻撃するとき第一に降伏する者たちです。

適用:青少年、大学生編

青少年の皆さんは、成長し円熟に至るため、あなたの意志が完全に服従させられることを学んでください。あなたが直面しているあらゆる環境は、神があなたの益のためにアレンジしていただきました。そして神は両親、先生などの代理権威もアレンジしています。あなたが神の秩序の中で正しく学び祝福されるために、代理権威や環境上の主の導きに服することを学んでください。

思春期は成長する段階であり、それゆえに不安定な時期でもあります。ですからあなたは、時には感情的になり、反逆することもあるでしょう。あなたは若い時から、消極面では、反逆の源は肉の中の罪、サタンであることを認識してください。積極面では、聖霊の管理の下での神の懲らしめ、教育、砕きは、あなたの益のためであることを認識してください。服従すれば、あなたは成長することができます。サタンはそれを知っているので、あなたが反逆的になるように働いているのです。主の恵みとあわれみに頼って、若い時から服することを学ぶことができますように。

ヘブル 12:9 さらに、肉の父は私たちを取り扱う者であるのに、私たちは彼らを敬ったのであれば、まして、霊の父にはなおさら服従し、そして生きないでしょうか？

10 肉の父は、自分の良いと思うようにしばらくの間、取り扱いましたが、霊の父は、益のために、私たちが彼の聖にあずかるようにと取り扱われるのです。

11 どの取り扱いも、その時は喜ばしいこととは思われず、むしろ苦しいことと思われまふ。しかし、後になると、それによって訓練された者たちに、平安の義の実を結ばせまふ。ローマ 8:27 心を探る方は、その霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、彼は神にしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。

28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。

祈り:「おお主イエスよ、私は反逆的な思想や感情がサタンからであることを知りました。私の両親や先生などの代理権威は、私の益のために神によってアレンジされました。神に感謝します。服従することを学ばなければ、私は成長して前進することができません。将来、神にとっても人にとっても役に立つ人になるため、服従することを学ばせてください。私の意志の中の反逆的で服さないものを取り除いてください。服従した意志を持って、神のために、サタンに敵対して戦います。主の御名の中で祈り求めまふ。アーメン！」

Crucial Points(3):天然の命が対処されて、バイタル・パートナーと共にキリストのからだの生活を実行する

エペソ 4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。6:13 こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日にあつて抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。

OL1:私たちの霊的な経験と霊的な命の第四段階は、最高の段階であり、キリストが私たちの中で完全に成長しています。これは、霊的戦いの段階であり、そこにおいてキリストは私たちの中で完全に成長しており、円熟しています。

OL2:私たちの肉が対処され、自己の意見が砕かれ、天然の命が粉碎されてはじめて、私たちは内側の神聖な命によって、からだを認識することができるようになり、また、自分がからだの肢体にすぎず、私たちの内側の命は独立できないことを認めることができるようになります。

OL3:もし私たちが霊的戦いを戦って、神の敵を対処したいなら、まず私たちの肉、自己、魂の命を対処しなければなりません。OL4:霊的戦いに従事して、サタンを対処し、神のために地を回復するのに必要とされるのは、私たちが神のためにすべてにおいて絶対的になって、完全に彼に服従することです。

聖書と私たちの経験は、私たち一人一人はキリストの肢体ですが、私たち一人一人の中にある命は「肢体の」命ではなく、「からだの」命であるということを証明しています。…[私たちの体の]それぞれの肢体は同じ命に、すなわち体全体の命に他のすべての肢体と共にあずかっているのです。…同じように、キリストのからだの中で一つの肢体がからだに結合されているとき、またはからだと交わりがあるとき、彼の命はからだの命であり、からだの命は彼の命です。他の肢体から分離したりすることは彼にとっては無益な事です。…それは区別することも分離することもできません。私たちが共に結合し、キリストのからだとするのはこの命です。

しかしながら、これらの事は、私たちが自己の問題を完全に対処する以前には経験することができません。もし私たちが依然として肉にしたがって生きており、まだ自分自身の中に生きていて、天然の能力で主に仕えているなら、私たちの内にいますキリストご自身であるからだの命は、現される道がありません。また私たちがからだを認識する

道もありません。私たちが肉によって生きれば生きるほど、からだの支援の必要を感じません。私たちが自己の意見によって生きると、私たちは召会の支えの必要を見ないでしょう。私たちが天然の能力で仕えようと、私たちは肢体の組み合わせの必要を感じません。私たちの肉が対処され、自己の意見が砕かれ、天然の命が粉碎されてはじめて、私たちの内側の命はからだの命であり、肢体である私たちは、からだから独立できないことを認識するでしょう。それゆえこの命が他のすべての肢体との交わりと、結合することを要求します。そして私たちがその交わりの中へともたらし、共に結合する経験へともたらしまふ。からだに関して少し認識が出はじめ、霊的戦いに従事するように資格づけられるのはこの時です。

適用:青年在職、大学院生編

あなたはビジネス・パーソン、あるいは大学院生として天然の能力、自信、個人主義が対処され、砕かれる必要があります。それはあなたを通して神の祝福がもたらされるためです。天然の能力や自信があると、自分に頼っているのでもキリストと召会に頼りません。そうであれば当然、あなたのビジネス・ライフに神の祝福をもたらすことはできません。

また天然の命が対処されてはじめて、からだを認識し自分がからだの一体であるので、からだに依存しなければ死んでしまうことを知ります。さらにこのからだは霊的な戦いに従事します。個人でサタンと戦うことのできる人は誰もおりません。ですから次のような順番になります:

- ① 毎日、召会生活の中で主を享受し、主に仕える。
- ② 天然の命が粉碎される。
- ③ 内側の命がからだの命であり、自分がからだの肢体にすぎないことを認識する。
- ④ からだの中で神のためにサタンに敵対して戦う。
- ⑤ 神のために地を回復し、キリストの再来を準備する。

ビジネス・ライフにおいて、あなたはバイタル・パートナーに依存し、開いて交わり、祈ってもらう必要があります。彼らはビジネス上の細かいことは分からなくても、問題のアウトラインと論点を大まかに説明し、祈ってもらう必要があります。このような交わりは一般の集会の中で交わるのではなく、家庭集会や一対一の交わりの中で行います。

しかしあなたの天然の力が対処されていないならば、バイタル・パートナーに開くこともできません。そうであれば、実行上あなたはからだから離れた肢体となるので、からだを通して神の豊かな祝福にあずかることは不可能です。からだのビジョンを見て、天然の命を対処し、からだの生活を送り、ビジネス・ライフや研究生活で神の祝福があなたを通してもたらされますように!

例えば会社で上司や同僚があなたの霊的な益のために神によってアレンジされています。しかしあなたは天然の命が対処されていないので、神に服さず、神を逆恨みしてしまひまふ。あなたは自分に何が最適なのかを理解できませんが、神はご存知です。神に自分をゆだね、神に服し、キリストのからだを実行するために、バイタル・パートナーに依存して、十字架を負って天然の命を対処し前進すれば、あなたは神の大きな祝福を見ることができるようです。

祈り:「おお主イエスよ、私はあなたを愛します。キリストのからだは単なるスローガンにならないように、私の天然の力、能力、自信は完全に対処されなければなりません。十字架がなければ復活がないように、天然の命を否まなければ、からだからの祝福にあずかることはできません。さらに、からだは実行上現れ出ることができれば、霊的な戦いがあり、サタンは隅に追いやられ、辱められ、地が神のために回復されることができまふ。ハレルヤ！」